

【内視鏡検査前 抗血栓薬の休止薬一覧表】

分類	50音順	一般名 (成分名)	商品名 (先発品と代表的な後発品名)		消化器内視鏡診療 ★1,2			
					生検・出血 低危険度	大腸 ポリープ切除		
抗血小板薬	ア	アスピリン	アスピリン	アスピリン腸溶錠	休薬なし	5日休薬		
			バイアスピリン					
	ア	アスピリン・ ダイアルミネート配合剤	アスファネート	ニトギス				
			バッサミン	パファリン ※市販薬含む				
			ファモター					
	ア	【配合剤】アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩	キャブピリン配合錠					
	ア	【配合剤】アスピリン・ランソプラゾール	タケルダ配合錠					
	ア	【配合剤】アスピリン・クロピドグレル硫酸塩	コンブラピン配合錠	ロレアス配合錠			7日休薬	
	イ	イコサペント酸エチル (EPA)	イコサペント酸エチル	エパデール			休薬なし	1日休薬
			エパデールEM	エパデールS				
	オ	オメガ3脂肪酸エチル(EPA製剤)	オメガ3脂肪酸エチル	ロトリガ				
	サ	サルボグレラート塩酸塩	アンプラーグ	サルボグレラート塩酸塩				
	シ	シロスタゾール	シロスタゾール	プレタール				
	チ	チカグレロル	ブリリント					
チ	チエノピリジン系	クロピドグレル硫酸塩	クロピドグレル硫酸塩	ブラビックス	7日休薬			
		チクロピジン塩酸塩	チクロピジン塩酸塩	パナルジン				
		プラスグレル塩酸塩	エフィエント					
ヘ	ベラプロストナトリウム	ケアロードLA	ドルナー	1日休薬				
		プロサイリン	ベラサスLA					
		ベラプロストナトリウム						
抗凝固薬	ア	アピキサバン	エリキュース	休薬なし	不可			
	エ	エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナ					
	タ	ダビガトランエテキシラートメタンサルホン酸塩	ブラザキサ					
	リ	リバーロキサバン	イグザレルト					
	ワ	ワルファリンカリウム	ワーファリン			ワルファリンK	不可 ★3	
拡張薬 血管	カ	カリジノゲナーゼ	カリジノゲナーゼ	カルナクリン	休薬なし	1日休薬		
	ヘ	ヘプロニカート	ヘプロニカート					
	リ	リマプロストアルファデクス	オパルモン	リマプロストアルファデクス				
拡張薬 冠血管	シ	ジピリダモール	ジピリダモール	ベルサンチン	休薬なし	1日休薬		
	シ	ジラゼブ塩酸塩	コメリアンコーワ	ジラゼブ塩酸塩				
	ト	トラピジル	ロコルナール	トラピジル				
代謝改善薬 脳循環	イ	イブジラスト	ケタス	休薬なし	3日休薬			
	イ	イフェンプロジル酒石酸塩	イフェンプロジル酒石酸塩			セロクラール		
	ニ	ニセルゴリン	サアミオン			ニセルゴリン		
<p>＜参考文献＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ※「循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン」2008年 日本循環器学会 (2009年改訂版 2015/10 更新版) ※「脳卒中治療ガイドライン2009」2009年 日本脳卒中ガイドライン委員会 (日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本神経学会ほか) 追補2017 ※「手術医療の実践ガイドライン」2013年 日本手術医学会 ※「EHRA PRACTICAL GUIDE」: 非弁膜症性心房細動患者における新規抗凝固薬の実用ガイド(2012年), European Heart Rhythm Association ※「科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン2015年版」日本有病者歯科医療学会、日本口腔外科学会、日本老年歯科医学会 ★1「心房細動治療(薬物)ガイドライン2015年改訂版」日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心電学会、日本不整脈学会 ★2「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」2012年 日本消化器内視鏡学会 直接経口薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補2017 ★3「ワーファリン適正使用情報第3版」 								

【主治医確認書】 ～消化管内視鏡検査における抗血栓薬の休薬について～

平素より大変お世話になっております。

この度、当院にて患者様の消化管内視鏡検査を行う事となりましたが、貴院より抗血栓薬の処方を受けていると伺いました。当院では「抗血栓薬服用者に対する消化管内視鏡診療ガイドライン」に基づき、抗血栓薬の休薬について下記のように定めております。

お手数ではございますが、内容をご確認の上、「～主治医記入欄～」に休薬可否や休薬期間をご記載いただきたく存じます。患者様のリスクを最小限にする為にもご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

【当院の基準】

当院では休薬に伴う血栓塞栓症のリスクを低減するため、抗血栓薬の内服を継続した状態で検査及び内視鏡治療が可能な場合があります。検査医の判断のもと、安全性を考慮して治療・検査を行います。抗血栓薬休薬に伴う血栓塞栓症のリスクが低い場合はより安全に内視鏡検査を行うため、休薬を検討いただくようお願いしております。当院での治療が難しい病変を発見した場合は、入院可能な施設への紹介を行うなど、適切な対応を行います。

□下部消化管内視鏡検査(大腸ポリープ切除の希望あり)：

抗血栓薬の内服が1剤までであれば内視鏡治療が可能な場合もありますが、より安全を期するため休薬をご検討ください。休薬する場合は、「抗血栓薬の休止薬一覧表」にて休薬期間を確認ください。

※チエノピリジン/チカグレロル以外の抗血小板剤を2剤以上内服している場合、抗血小板剤が単剤であればポリープ切除が可能になりますので休薬の可否をご検討ください。

※抗凝固薬(ワルファリンカリウムや直接経口抗凝固薬;DOAC)服用中の方、チエノピリジンまたはチカグレロルを含む抗血栓薬を2剤以上服用中の方はポリープ切除を行うことができないため休薬の必要はありません。

□上・下部消化管内視鏡検査(観察・生検のみ希望)：

抗血栓薬は休薬不要です。

※ワルファリンカリウム(ワーファリン等)を服用中の方は生検不可のため休薬の必要はありません。

～主治医記入欄～

【患者名】 _____

【休薬可否】 可 ・ 不可 (○をつけてください)

【休薬する抗血栓薬名および休薬開始日】

_____ を _____ 日間休薬

※検査当日は休薬期間に含みません

※内服再開時期は検査医が指示いたします

【記載日】 20__年__月__日

【医療機関名】 _____

【医師名】 _____

ご不明な点がございましたら下記へご連絡ください。

医療法人社団 東京ミッドタウンクリニック

TEL03-5413-0080(平日9:00～12:30, 14:00～17:00)